

## 第六回「大人とは」(2011/2/11)

場所：ラ・ボエム

司会、文責：野田

参加者：17人

要約：社会との関わりから見た大人、自立した大人、自律することが出来る大人、経験をつんだ大人について話しました。

背景：先月成人式がありました。成人式では、大人とは何かについて考えたのに、普段は余り意識しないので、お題に選びました。

内容：

途中、「大人」に関する表現を集めてみるという、言葉遊びを交えて、大人について議論しました。社会の中の役割を果たす主体としての大人に主に話が集中しました。

### 1. 社会の中の大人

- ・ 子供が成長して行って、社会に仲間入りすることを認めてもらうと大人である。
- ・ 大人はルールやマナーを守り、礼儀正しく振舞える。新しいマナーを作り出したり、社会に認めさせたり出来る。
- ・ 大人は、社会を維持するために役割を果たす。社会からの要請や役割を引き受ける。
- ・ 社会とは一つの固定したものではなく、小さな社会がいくつもあり、揺らいでいる。
- ・ 一人では生きていけないので、集団やソサエティに属したいという願望がある。
- ・ 社会がなく、自分一人しかいない場合は、大人とか子供とかの区別はない。
- ・ 役割を果たす、或いは結果を引き受ける、社会を維持するように働くと言っても、必ずしも結果を正確に予想できるではないので、事前に、或いは行動をしながら、どこまで熟慮して、結果を予想したかが問われる。
- ・ 子供は関係する範囲が狭く、大人は広い。社会の中で役割を果たすために関係が広がる。
- ・ 役割を果たすには自律出来ることが必要。又、社会を維持するには自立していることが必要。

### 2. 家族の中の大人

- ・ 家族は社会の一つである。大人は子供を守る役割がある。
- ・ 成人しても、子ども扱いされることがある。

### 3. 自立している大人

- ・ 大人は食う、寝る、住むところを自分で調達できる。
- ・ 自分で自分のことをやる、責任を引き受ける、結果を引き受ける。

### 4. 自律出来る大人

- ・ 大人は我慢したり、欲望を制御出来る。単純に抑制するだけではなく、欲望を増幅すべきときはする。

### 5. 経験をつんだ結果としての大人

- ・ 大人は、多面的な見方が出来、酸いも甘いも分かる、銭勘定、大人の事情、利害が絡み

合っている状況を鑑み、対応出来る。

- 大人の味というものがある。子供では美味しさを感じることが出来ないものが、経験をつむことで美味しく感じられる。
- 大人は余裕がある。
- 大人は純粹さが失われる。
- 大人は、自ら大人とは何かを考え、探求している存在。

#### 6. 大人という言葉

- 大人という言葉は利用される言葉であり、人を評価し、攻撃し、脅迫するために使われる。

会の後半で、責任に話が及びましたが、話を深めるのに時間が足りませんでした。会の途中で、大人には4類型があると、対話の内容をまとめられた方がいらっしゃいました。本報告をまとめるにあたり参考にさせていただきました。